

夢大使紹介③



及川 芳彦氏

仙台市向陽台児童館
館長

ふるさと「南三陸町さんさん夢大使」に引き続き委嘱していただき、光栄に思っております。

やはり、生まれ育ったふるさとことは、とても気になり、新聞やテレビで南三陸町のニュースが報道される度に、食い入るように記事を読み、映像に目を凝らしている日々です。

これまで様々な機会をとらえ、私なりに我ふるさととの素晴らしさを伝える努力をしてまいりましたが、話題にすると必ずと言っていいほど、「私も実家が南三陸町です」「南三陸町の豊かな自然の恵みを求め、度々訪れてます」などと、お話ししてくださる方がいらっしゃいます。とてもうれしく、そして、心強く感じております。

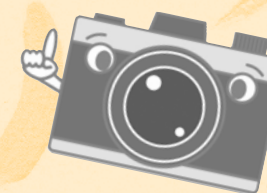
また、この4月からお世話になっている仙台市向陽台児童館の運営団体であるNPO法人「みやぎ・せんだい子どもの丘」は、東日本大震災の折に子どもの居場所づくりに奔走した団体であり、夢大使としての活動を後押ししていただいております。

いただいたご縁を大切に、出会った皆様のお力をお借りしながら、微力ではございますが、生まれ育ったふるさとに少しでも恩返しできるよう、しっかりと南三陸さんさん夢大使の役割を果たしてまいりたいと思います。

この度、南三陸さんさん夢大使を拝命しました鈴木陽子です。貴重な機会をいただき、驚くとともに感謝の気持ちでいっぱいです。

南三陸町との関わりは、2022年から開始した宮城県内の移動課題解決を目指す「東北モビリティ・プロジェクト」がきっかけでした。私はトヨタ自動車東日本株式会社のプロジェクト担当者として、町内で「SmartGOTO南三陸」（デマンドバス）の導入支援に携わせていただきました。2023年の実証実験開始前後から南三陸町で過ごす時間が増え、まるで半分町民のような、第二の故郷ができたような気持ちで過ごさせていただいています。地域の方と一緒に汗をかき、どうしたらもっといい移動が実現できるのか、試行錯誤を繰り返すことで学びがたくさんありました。未来に向けた挑戦とともに歩んでくださる町内の関係者の方々に感謝しています。また、移動や公共交通は、多様な地域課題に密接に関わっています。買い物や通勤・通学などの暮らしや、環境面も含めて地域にとって「いい移動」とは何か、一緒に考え行動してくれる方を増やしていきたいと思っています。ぜひ、町内で見かけた際は声をかけていただけると嬉しいです。引き続きさんさん夢大使として、町外に向けても、素晴らしい町の魅力や取り組みを伝え、ともに歩んでいけたらと思っています。

8月号から、町の魅力や特産物などの情報を発信・宣伝していただくため新たに任命した「南三陸さんさん夢大使」の皆さまをご紹介します。



みな
レポ

夢大使紹介①



梁川 英治氏

三井物産株式会社
執行役員経営企画部長

南三陸町は私の母親の実家があり、私自身も志津川中学校を卒業するまで、野生児として育った故郷でもあります。ウニやアワビの開口の日、学校は公休で朝から漁に出たり、中学まで片道6キロを自転車通学した日々は今も懐かしい思い出です。高校、大学は仙台、就職してからは主に東京に住んでいますが、これまで数多くの友人を南三陸に連れて行き、南三陸ファンを増やしてきました。勿論現在も母親と沢山の親戚が南三陸に住んでいますので、定期的に家族と共に里帰りをして、南三陸の自然や食べ物を堪能しています。東日本大震災発生時は、仕事の都合で海外に駐在しておりましたが、発生の翌週には南三陸に帰り、忘れられない経験となりました。救援のつもりが逆に叔母から海苔のお土産を貰って帰り、東北人の心根の強さと優しさを改めて感じさせられました。

この度さんさん夢大使を拝命し、故郷に錦を飾ることが出来、大変光栄に思っております。仕事がありますので、余り大きく時間を割くことは出来ませんが、イベントも含めて実家に帰る頻度を上げること、私の生活や交際の範囲で今まで以上に南三陸の良いところをPRして行き、南三陸ファンを増やしていきたいと思っています！

夢大使紹介④



鈴木 陽子氏

トヨタ自動車東日本株式会社
プロジェクトC開発 主任

夢大使紹介②



西城 瑞希氏

アニソンシンガー

南三陸町との関わり

友達、家族、思い出がつまっている
18年間育ってきた大好きな故郷です！

大使としての活動内容

音楽で南三陸に「音返し」を。
ひとりでも多くの方に南三陸のことを知っていただけるようにPR活動頑張ります！

南三陸町への想い

夢を与えてくれた。音楽を好きにさせてくれた。かけがえのない宝物がたくさん詰まった大好きな故郷。私がこの地でアニソンシンガーになる夢を抱いたように「あなた」の夢が未来へ続いていきますように。